

オレンジだより

～認知症になっても安心して暮らせるまち かのや～



メンタルホスピタル鹿屋に認知症地域支援推進員が配置されました

令和7年4月に鹿屋市からの委託を受け、メンタルホスピタル鹿屋に認知症地域支援推進員が配置されました。認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、医療や介護、行政等との連携強化を図り、地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上に努めてまいります。

～チームオレンジ「かれん」の活動紹介～ 「まちを花で飾りたい」

「自分たちの暮らすまちを花で飾りたい!」

下祓川町弥生地区の住民の方の声が発端となり、令和7年4月からチームオレンジ「かれん」として、花育活動をスタートしました。

定期的に季節の花の植え替えをし、育てた花をメンバー同士交換しあったり、近所の方にお裾分けをしたり、活動の輪が徐々に広がっています。

「花に全く興味がなかった夫が、毎日の水やりや花の成長を楽しみにするようになったんです」

「花を通して、近所の方に声を掛けたり掛けられたり。」

活動が広がっていくことが理想です」

メンバーの方々が、いきいきと話してくださいました。



認知症カフェ「かのやオレンジカフェ」を開催しています

認知症カフェ「かのやオレンジカフェ」を、毎月第3木曜日に東地区学習センター集会室で開催しています。対話や交流を楽しみながら、毎回違うテーマで認知症についての理解を深める「ミニ講座」を計画しています。認知症の方、ご家族、地域の方、専門職の方、どなたでもご自由にお越し下さい。

(申込み不要、無料)



今後の予定

7/31・8/28・9/25
10/30・11/20・12/25
1/29・2/26・3/26

(全日程 木曜日)

時間：13:30～15:30
場所：東地区学習センター
(新川町114番地2)



認知症に関する市の取組等を知りたい方はこちら

鹿屋市認知症サポート 



【情報誌に関する問合せ先】

鹿屋市認知症地域支援推進員（メンタルホスピタル鹿屋内）

電話：0994-42-3155 担当／西迫

Q & A 認知症サポート医 楯林先生へお聞きしました！

Q：もの忘れが気になり始めました。認知症の検査の適切なタイミングは？

A：認知症の主要な症状は記憶力の低下です。記憶力の衰えを自覚したら検査を受ける事が基本ですので、以下の4点も参考に早めの相談をご検討ください

- 1 物忘れの程度や頻度を観察する
 - ア 物忘れが日常生活に支障を来すようになった場合
(買い物や薬の管理が困難、日付や場所を忘れるなど)
 - イ 物忘れはあるが日常生活に大きな支障が無い場合でも、
気になることがあれば早めに相談
 - 2 他の認知機能の変化がある場合
判断力や理解力、言語能力、行動変化など
 - 3 家族や周囲の人からの指摘
友人などから「最近物忘れがひどくなった」「行動がおかしい」などと言われた
 - 4 リスク要因がある場合
高齢、高血圧、糖尿病、脳卒中の既往、血縁に認知症の人がいる場合などは早めに受診
- 【早期診断のメリット】
適切な治療や生活支援、予防策を講じることができ、生活の質（QOL）を維持し易くなります



医療法人大徳会 桜ヶ丘病院
楯林 義寛 院長



Q：認知症は治療ができるのですか？

A：認知症は、年齢と共に進行していく疾患です。現在の所は、まだ老化を食い止める手段はありません。しかし、現在以下のような取り組みは可能で有用です。

- 1 薬物療法：アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症には、症状の進行を遅らせるための薬があります。お薬には症状の改善や進行の抑制に一定の効果が確認されています。
- 2 非薬物療法：認知機能訓練、リハビリテーション、生活支援、環境調整なども重要です。
これにより日常生活の質を維持しやすくなります。

現時点では認知症の根本的な治療法は確立されていませんが、早期診断と適切な治療や支援により、進行を遅らせたり、生活の質（QOL）を向上させることは可能です。

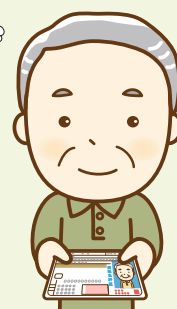
Q：高齢者の事故をニュースでよく見ます。

運転には自信がありますが、運転免許返納のタイミングは？

A：運転免許証の返納のタイミングについては、個人の健康状態や運転能力に基づいて判断する必要があります。

- 1 自身の身体的・認知的状態の変化が感じられた場合
 - ア 視力や聴力の低下
 - イ 反応速度や判断力の低下
 - ウ 運転中の不安や違和感（運転中に不安または操作に迷う事が増えるなど）
- 2 交通事故や交通違反を起こした場合（車を擦ることが多くなったなども）
- 3 家族や周囲の信頼できる人から「運転を控えた方が良い」と助言された場合
- 4 医師の診断を受けて助言を受けた場合

自信があっても、身体や認知機能の低下により安全運転が困難となる事があります。もし迷われる場合は、運転適性相談窓口や医師に相談される事をお勧めします。



楯林先生、ありがとうございました